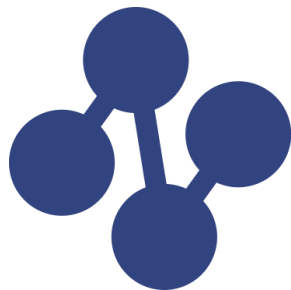


AIで心躍る未来を



NEURAL

2024年12月期 第1四半期決算説明資料

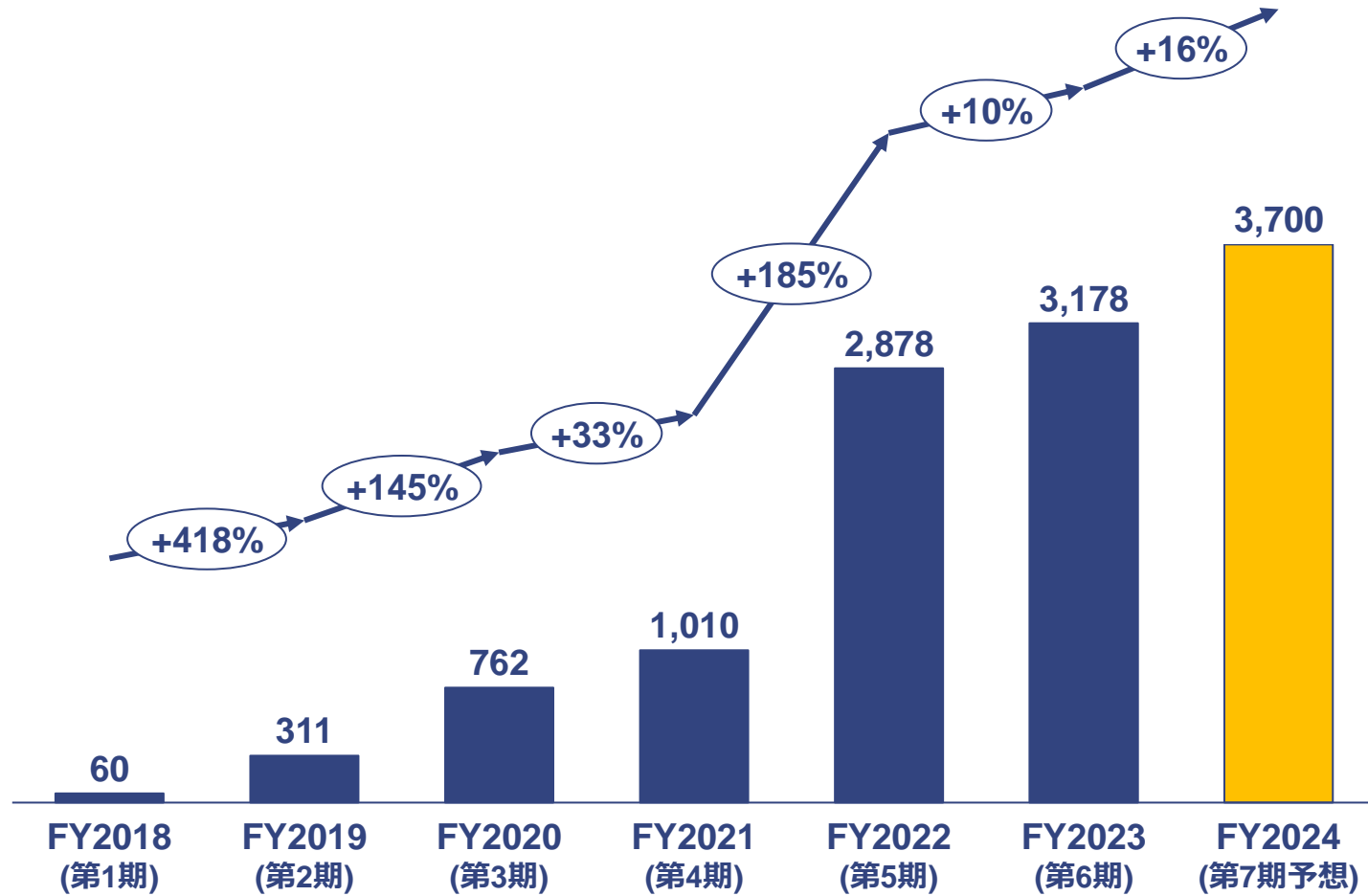
ニューラルグループ株式会社
2024年5月14日

2024年12月期（第7期）第1四半期 決算・戦略ハイライト

- **【総括】** 23年度までに実施した開発・営業人員への先行投資を通じ、自社AIサービスを構築し、拡販体制の拡充にも成功。業績の収益化を目指す24年度が1月からスタート。第1四半期となる**1-3月期は順調に進行**。
- **【売上】** 24年度Q1売上高は**780百万円**（23年度Q1対比**+29.5%**）にて着地。23年度に実施した資本業務提携を通じて新規サービス開発も加速。
 - エッジAIやSaaSシステムを活用した1on1の支援サービス「**KizunaNavi**」をソニー株式会社と共同で開発し、3月12日よりサービス提供を開始。両社が持つ映像・音声の解析技術と生成AIを用いて、1on1ミーティングの課題を解決、従業員のエンゲージメント向上を支援。
 - 当社グループのマンションサイネージ「**FOCUS CHANNEL**」において、**株式会社共同通信 デジタル提供のスポーツニュースの配信**を4月15日より開始。国際的なスポーツ大会や注目度が高まるプロスポーツの試合結果、選手の様子などを居住者の方々にお届け開始。
- **【収益性】** 売上原価・販管費共に23年度Q4水準より最適化が進み、**損益分岐に向けて順調に収益化が進行**。
 - Q1販管費は**614百万円**（23年度Q4対比**-58百万円**）、Q1売上原価率は**34.2%**（23年度下期対比**-0.3pt**）
 - 売上増加に対する営業利益増加比率（限界利益率）は**60%**を超える水準。23年度下期から開始したコスト最適化の成果により、同一売上時の利益水準も23年度から24年度Q1にかけて向上

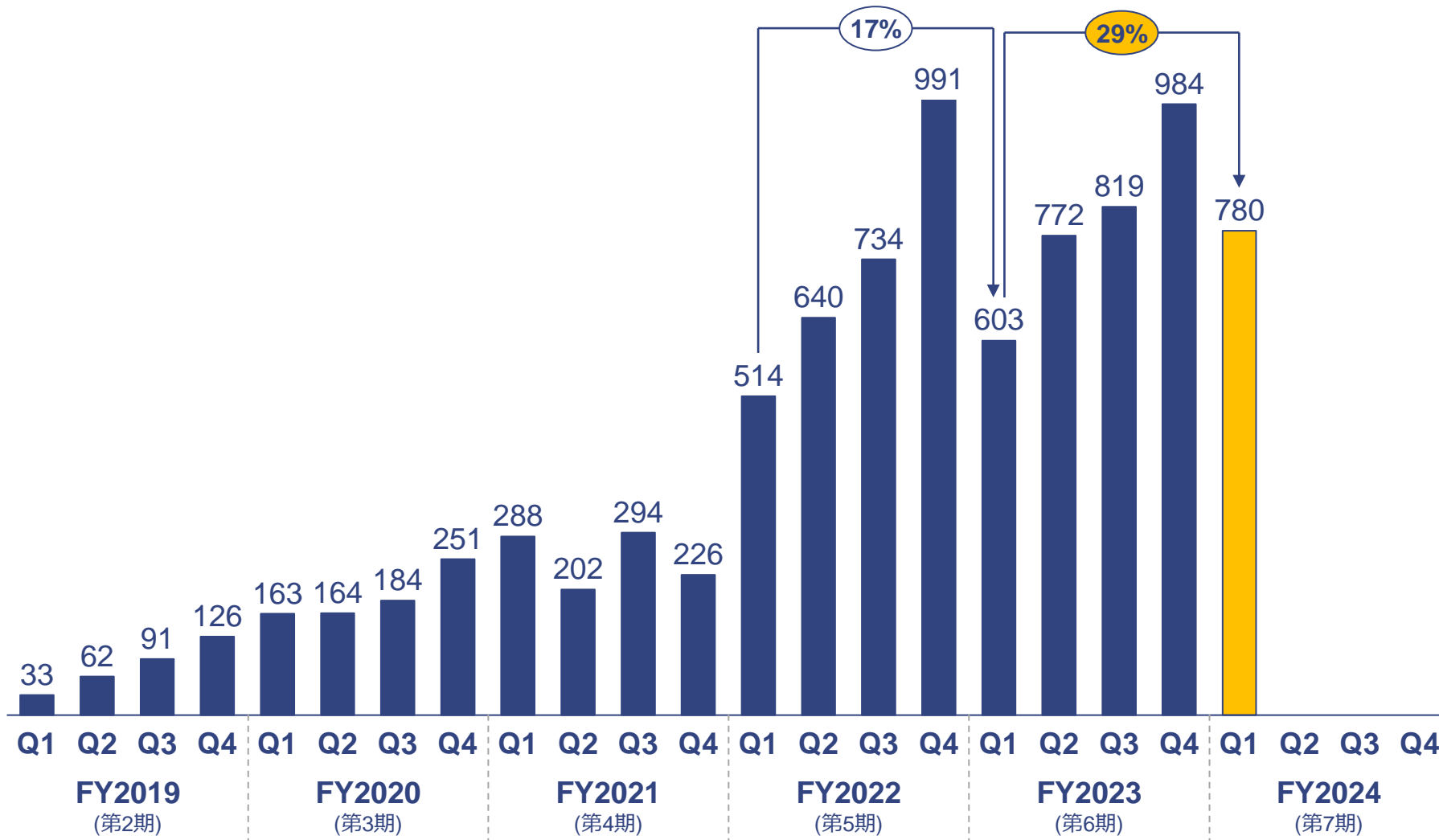
連結売上高の推移

(百万円)



四半期売上高の推移

(百万円)

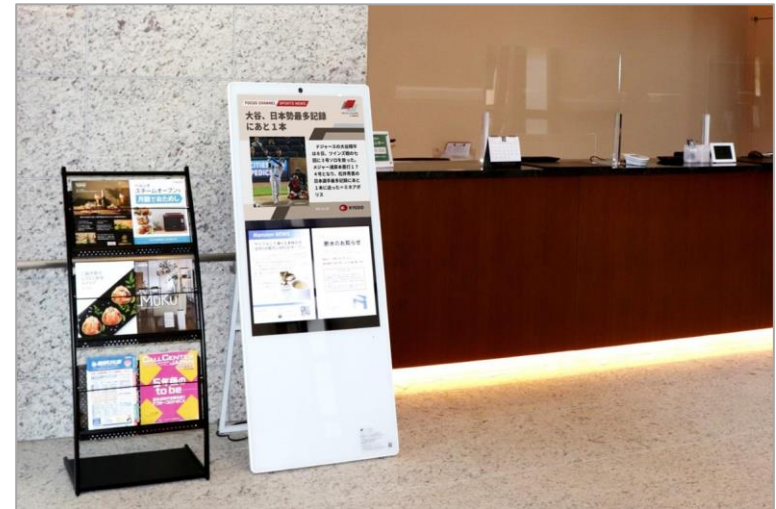


パートナー企業との協業の成果



【ソニー株式会社との資本業務提携の成果】

エッジAI技術やSaaSシステムを活用した1on1の支援サービス「KizunaNavi」の提供を3月12日より開始。両社が持つ映像・音声の解析技術と生成AIを用いて、1on1ミーティングのコミュニケーション課題を解消し、従業員エンゲージメントの向上を支援。



【共同通信社との資本業務提携の成果】

当社グループのマンションサイネージ「FOCUS CHANNEL」において、株式会社共同通信デジタル提供のスポーツニュースの配信を4月15日より開始。国際的なスポーツ大会や注目度が高まるプロスポーツの試合結果、選手の様子などを居住者の方々にお届け。

四半期営業利益の推移

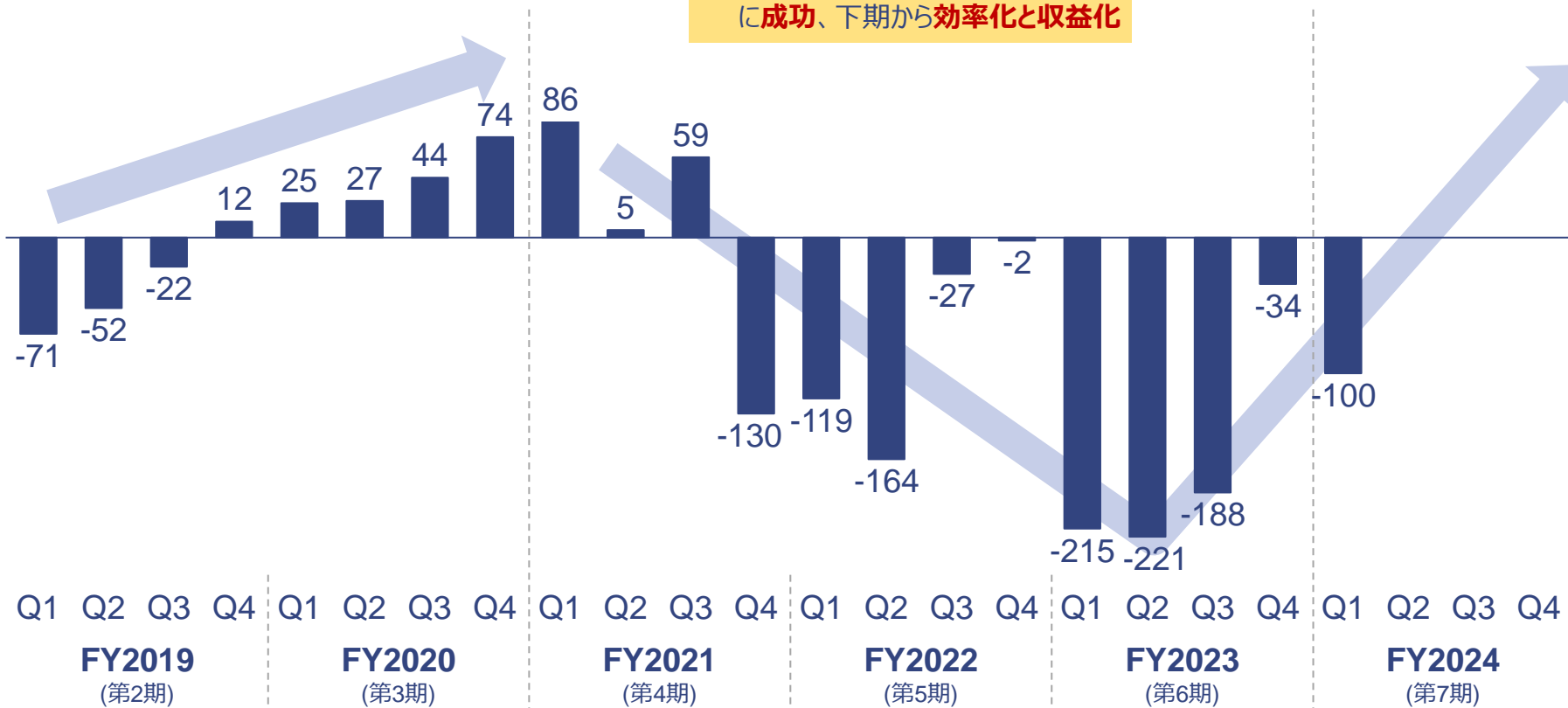
(百万円)

大企業に当社AI使用のライセンスを提供

当社独自のサービスを開発・販売

スケール・収益化

開発・営業領域に大規模に**先行投資**
⇒23年度上期にスケール体制の構築
に**成功**、下期から**効率化と収益化**



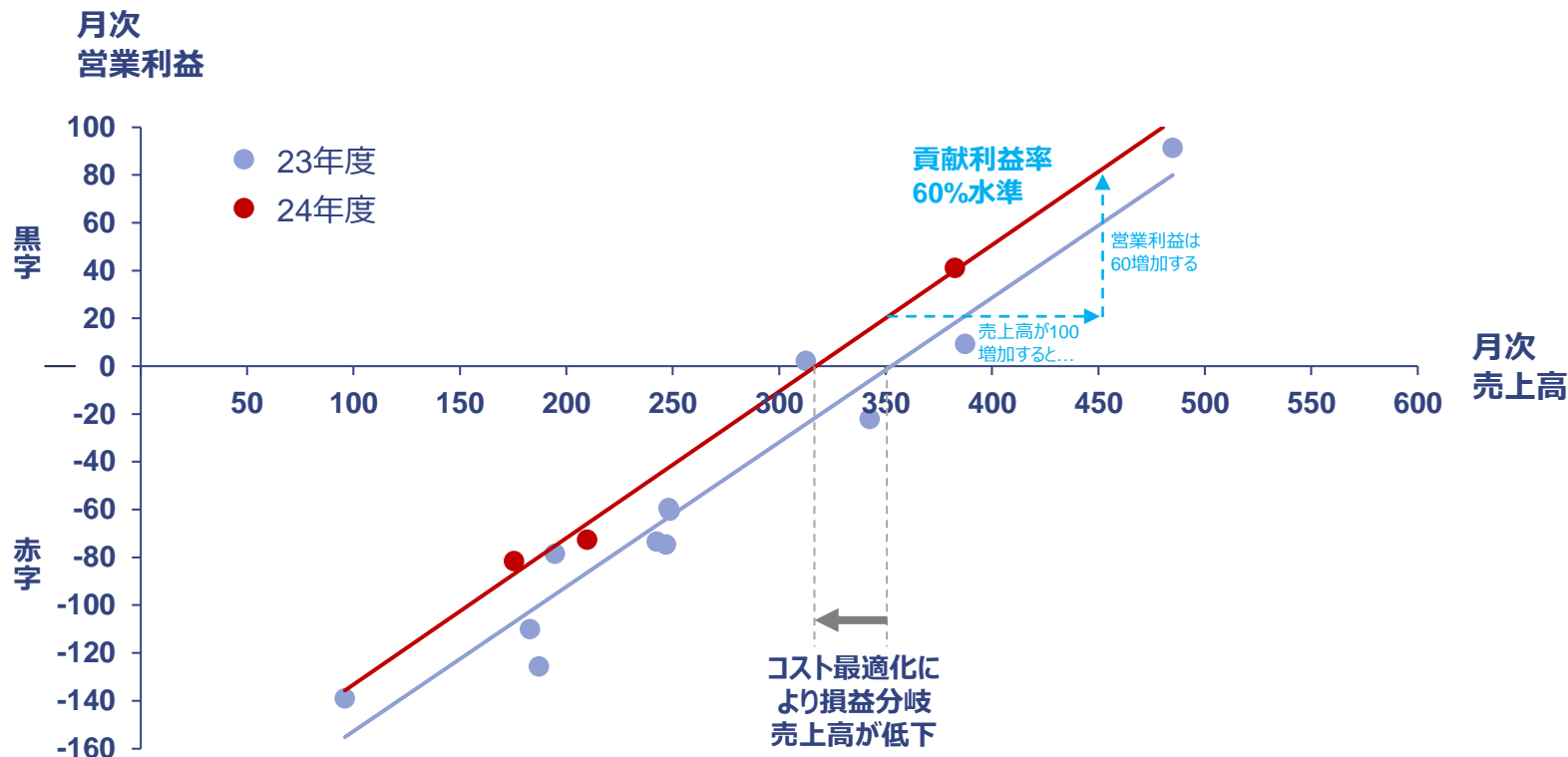
2024年12月期 第1四半期 連結業績

(百万円)

(百万円)	2023年 12月期 Q1実績	2024年 12月期 Q1実績	増減額	増減率
売上高	603	780	+178	+29.5%
売上総利益 売上総利益率	400 66.3%	513 65.8%	+114	+28.5%
EBITDA EBITDA%	-176 -	-63 -	+112	-
営業利益 営業利益率	-215 -	-100 -	+115	-
当期純利益 当期純利益率	-192 -	-109 -	+83	-

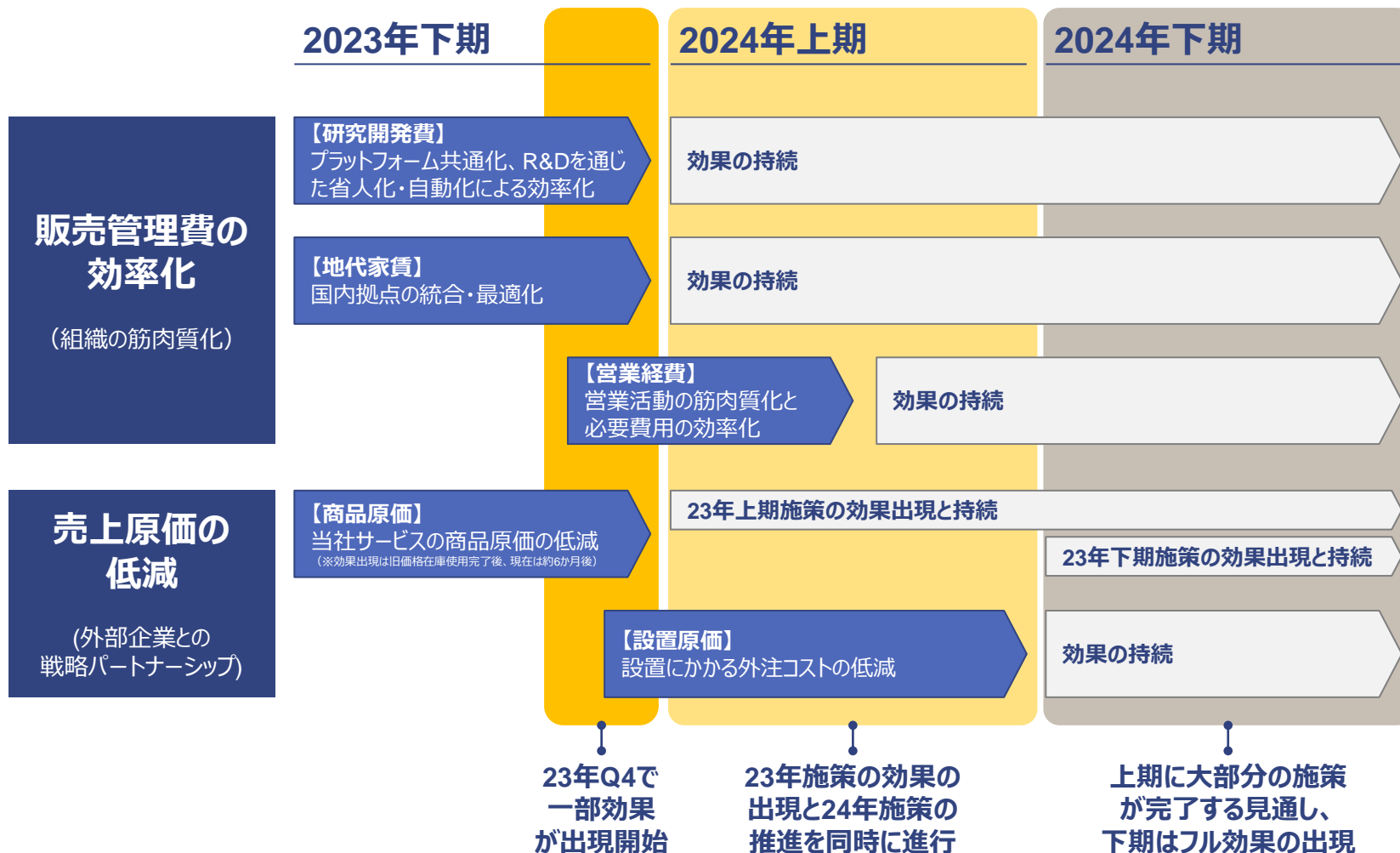
売上高と営業利益の関係（FY23-24月次実績）

(百万円)



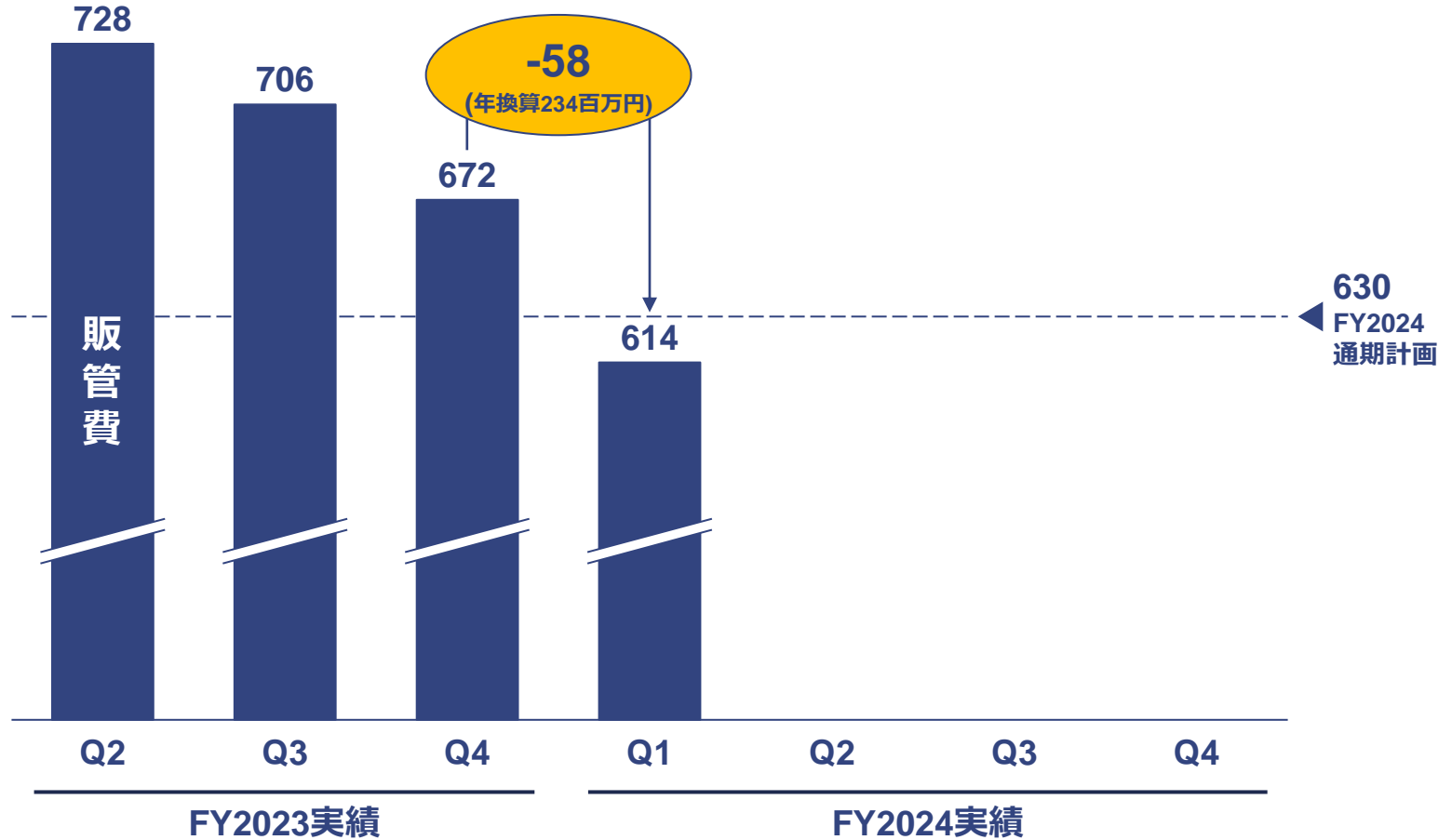
- 23年度下期から開始したコスト最適化の成果により損益分岐点売上高が引き下がり、**より少ない売上高でも黒字が創出できる構造に改善**
- 売上増加に対する営業利益増加比率（貢献利益率）は**60%を超える水準**

収益性向上活動の概要



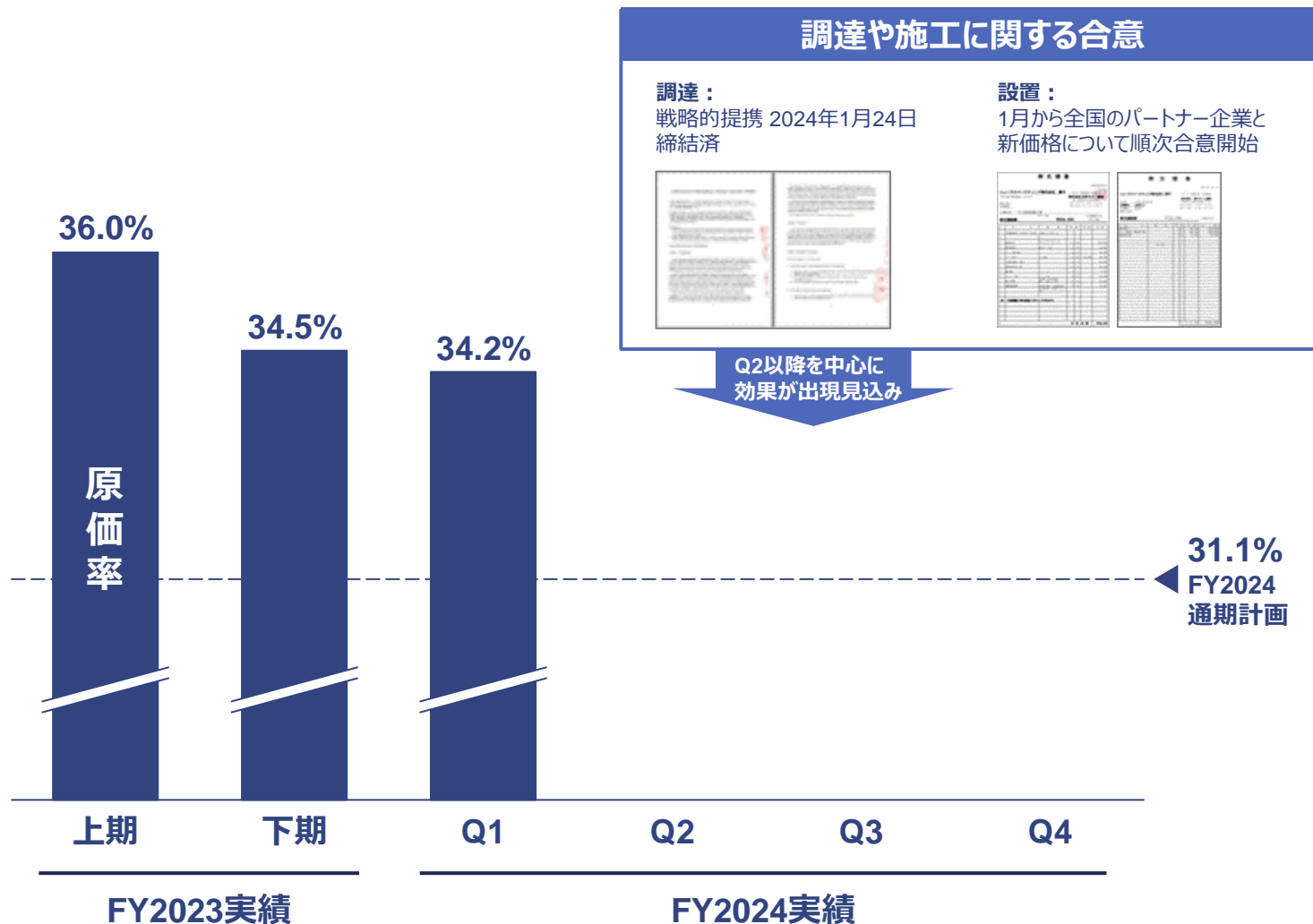
販売管理費の推移

(百万円)



売上原価率の推移

(売上%)



2024年12月期 連結通期 業績予想

(百万円)

**【第1四半期】
順調に推移**

	2023年 12月期 実績	2024年 12月期 業績予想	増減額	増減率
売上高	3,178	3,700	+522	+16.4%
売上総利益 売上総利益率	2,063 64.9%	2,550 68.9%	+487	+23.6%
EBITDA EBITDA%	-490 -15.4%	180 4.9%	+670	-
営業利益 営業利益率	-658 -20.7%	30 0.8%	+689	-
経常利益 経常利益率	-686 -21.6%	0 0.0%	+687	-
当期純利益 当期純利益率	-650 -20.5%	-120 -3.2%	+530	-

- 21-23年度の連続的な業績下方修正の結果を踏まえ、24年度は保守的ケースを会社予想として公表
- Q2までに各種コスト最適化施策実施完了予定、Q3・Q4それぞれで四半期黒字を計画
- Q4は10%水準の営業利益率を見込む
- 法人税等の影響で通期最終利益は損失を計画するが、下期中には四半期純利益黒字化予定

参考資料

会社概要

社名	ニューラルグループ株式会社（英語表記 Neural Group Inc.）
設立	2018年1月22日
代表者	重松 路威
上場取引所	東京証券取引所 グロース市場（TYO: 4056）
本社所在地	東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー32F
他拠点	<ul style="list-style-type: none">▪ タイ支社（CRC Tower, All Seasons Palace, Wireless Road, Lumpini, Bangkok, 10330）▪ シンガポール支店（9 Straits View, Marina One West Tower, #06-07）▪ 他国内10拠点
グループ会社	<ul style="list-style-type: none">▪ ニューラルマーケティング株式会社（代表：山本正晃、100%子会社）▪ ニューラルエンジニアリング株式会社（代表：岩切翼、100%子会社）▪ Neural Group (Thailand) Co., Ltd.（代表：竹中一真、74%子会社）
従業員数	243名（2024年3月末現在、役員・パート・アルバイト・業務委託を除く）
事業内容	独自開発のAIアルゴリズムによる画像・動画解析と端末処理（エッジコンピューティング）技術を活用したAIエンジニアリング事業
加盟団体	日本経済団体連合会（経団連） 日本ディープラーニング協会（JDLA） 他

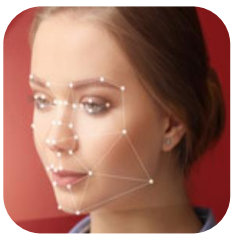
スマートシティを実現するAI技術やエッジ実装技術を多数開発・保有

人の属性解析

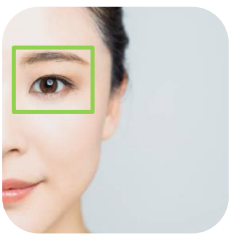
性別/年齢解析



顔認証



視線分析



ファッション解析



人の感情・思考解析

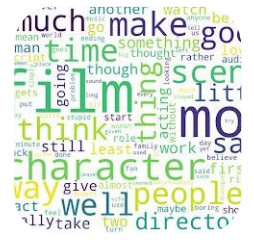
表情・感情解析



音声・感情解析



自然言語処理

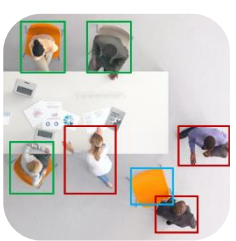


人の動き・行動解析

混雑度解析



空席検知



安心・安全見守り



侵入検知・防犯



車両解析

交通解析



駐車場満空把握



ナンバープレート検知



AIの社会実装に関する技術

エッジAI技術



エッジセキュリティ



広告配信最適化AI



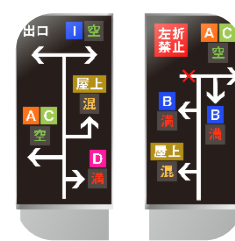
商品レコメンドAI



AIデータアナリティクス



AI-サインージ連携



AI-アプリ連携



当社ではエッジAIの強みを活かしたサービスを多数開発・提供

クラウドAI 従来のアプローチ



- 高コスト (通信費・維持費)
- 高遅延 (ネットワーク負荷)
- 高消費電力

エッジAI 当社が注力するアプローチ



- 低コスト
- 低遅延
- グリーン

プライバシー保護
にも大きく寄与



エッジAIカメラの導入実績



タイ導入事例
 CPグループ小売チェーン
 Lotus's 3店舗で交通解析



仙台 青葉山公園
 施設運営管理における
 人流を“見える化”



室蘭市
 都市政策/観光分野に
 おけるAIを活用した街づくりで
 地域活性化促進



柏の葉スマートシティ
 タウンマネジメントにおける
 見守り・防犯AIカメラ提供



プロロジスパーク猪名川1・2
 マルチテナント物流施設
 物流トラック車番検知



SMARK伊勢崎
 屋外駐車場満空把握
 および利用者誘導効率化



川口市立川口西公園
 都市公園における人流
 把握でイベント効果測
 定と基礎データ構築



西新宿エリア
 都心駅や都市公園にお
 ける人流把握および情
 報発信のデジタル化



ハウステンボス
 屋外駐車場の
 満空把握及び車番検知



巣鴨地区・大正大学
 大学教育の高度化に
 向けた産学連携と周辺
 地域のデジタル化推進



首里城公園
 人流解析で管理/
 運営のDX化を促進



佐世保市
 広告事業と同時に
 人流データを取得。
 街づくりDXを加速



小諸市
 まちづくりの取組の
 効果測定



**横浜市
 山下公園**
 人流解析導入、
 HP連携で混雑
 状況を周知



**プロロジス
 パーク草加**
 物流トラック
 車番検知



**三菱地所
 丸ビル・新丸ビ
 ル・OAZO**
 人流、滞在時
 間見える化他



**三井不動産
 市川塩浜II**
 物流施設
 物流トラック
 車番検知他



丸の内仲通り
 大丸有まちづく
 り協議会、人
 流解析を通じ
 た街づくり支援



**東京流通
 センター**
 車両混雑の
 可視化

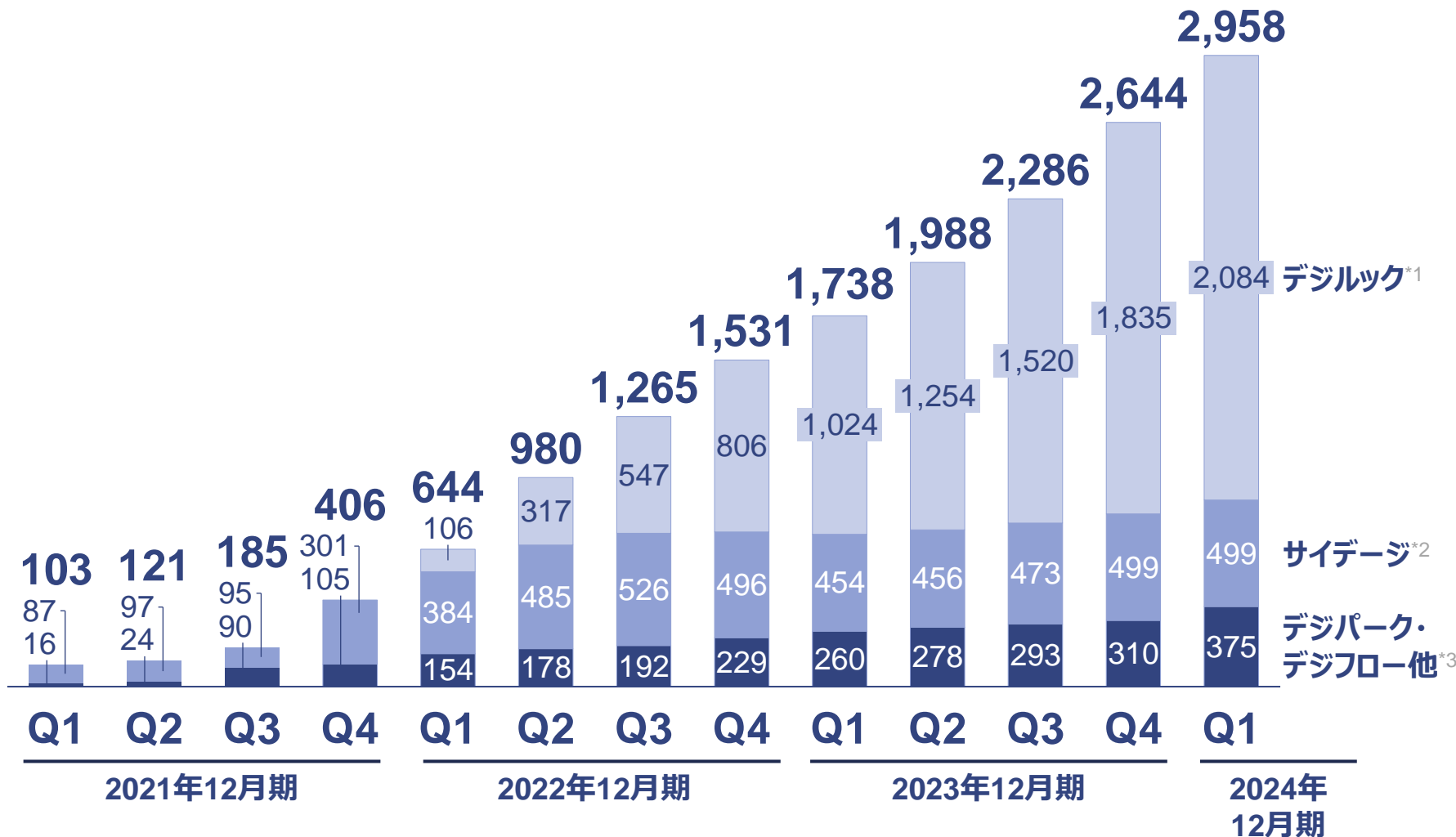


ニューラルグループは、エッジAIで街なかの空間価値を向上する会社です



デジソリューションサービスの設置・導入ユニット数（累計）の成長

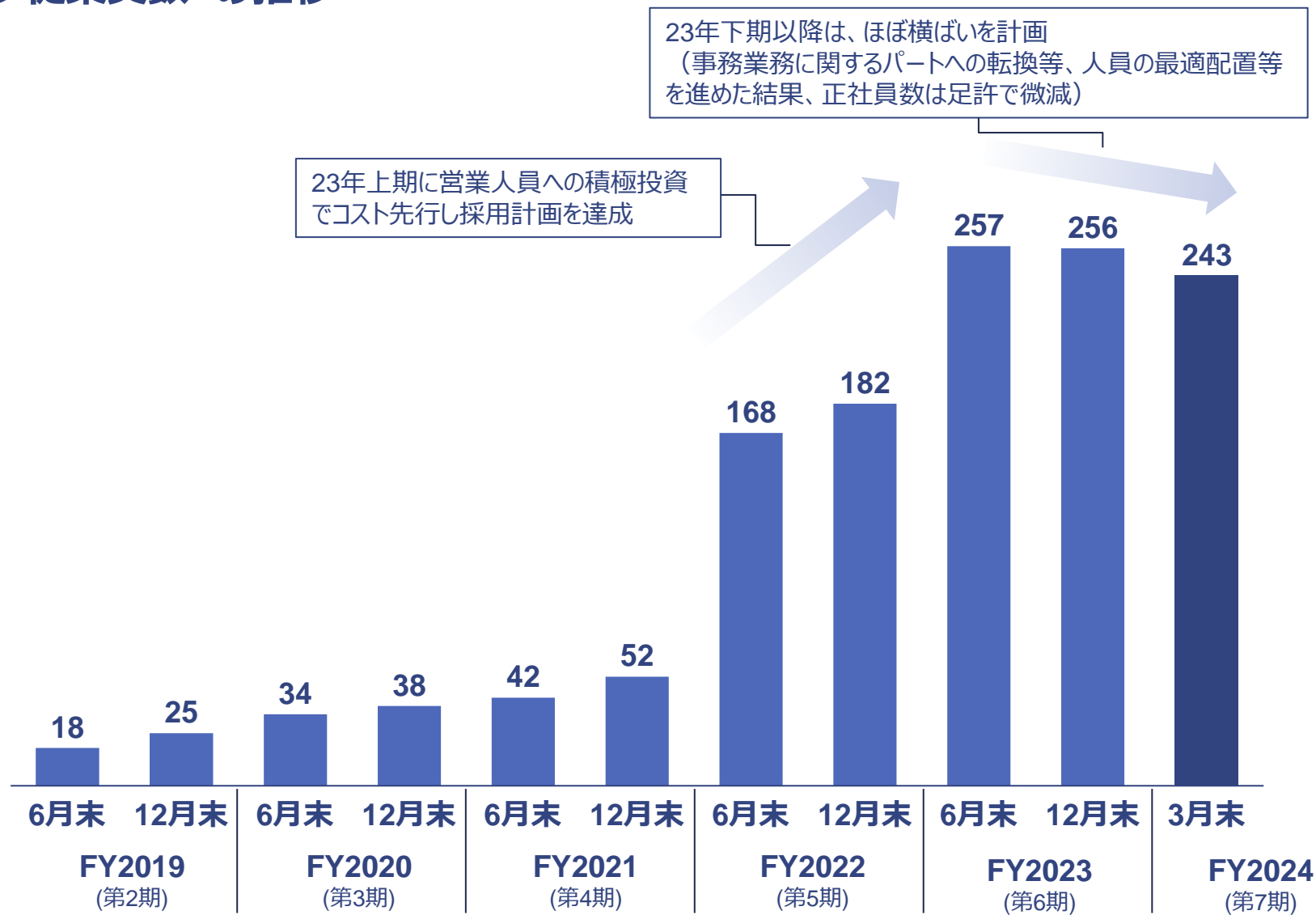
(ユニット)



*1 ニューラルマーケティング株式会社が当社グループ参画後に設置したLEDサインエージ拠点数。 *2 マンションサインエージメディアのフォーカスチャネルとして設置したマンションサインエージの他、商用導入あるいは試験設置をしているサインエージの台数合計。 *3 デジパーク・デジフロー等に関連して設置したエッジボックスユニットの台数。1台のエッジボックスで複数のカメラの解析を行うことができる。

グループ従業員数^{*1}の推移

(人)



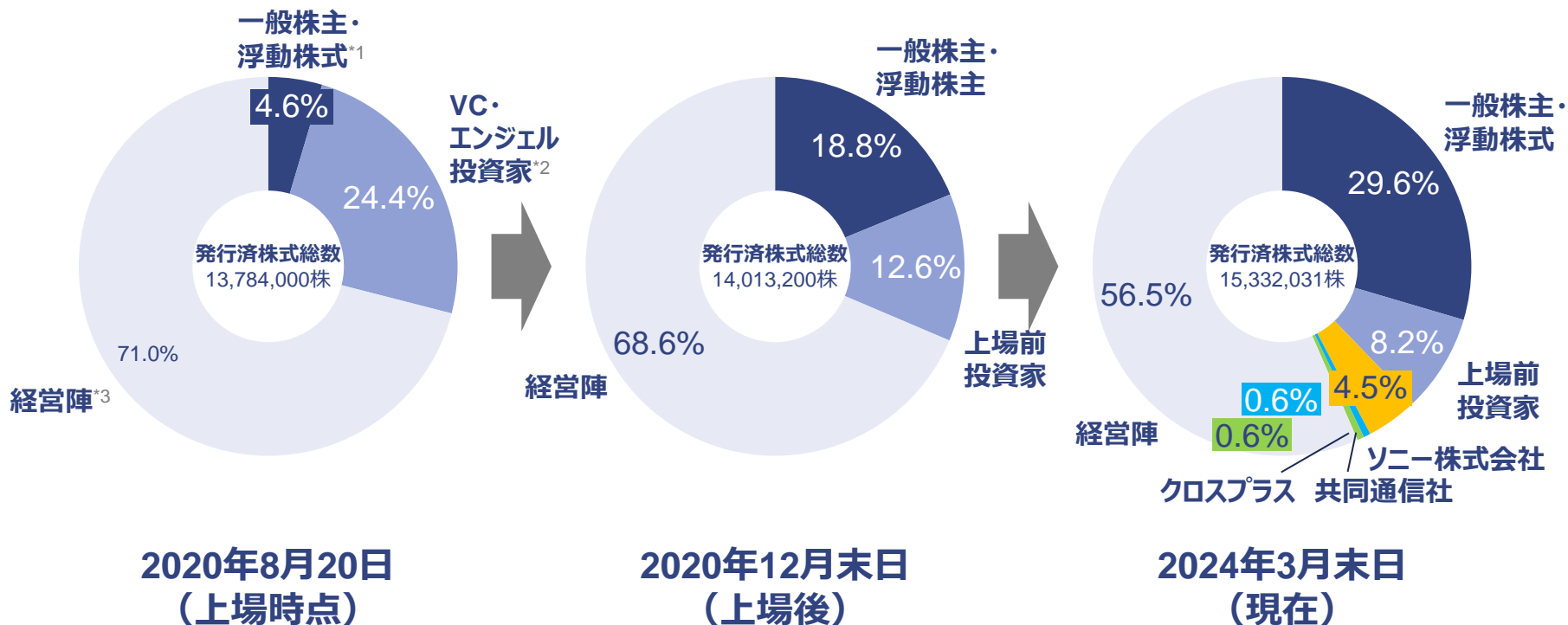
*1 2024年3月31日時点の正社員の合計。役員（取締役・監査役・執行役員）、パート・アルバイト、業務委託、インターン等は含まない。当社子会社のニューラルエンジニアリング社、ニューラルマーケティング社、ニューラルグループタイ社を含む。

2024年12月期 第1四半期末：貸借対照表

(百万円)

	2023年12月期 第1四半期	2024年12月期 第1四半期
	2023年3月末実績	2024年3月末実績
流動資産	1,593	1,572
うち現金及び預金	913	795
固定資産	1,738	1,628
資産合計	3,332	3,201
負債合計	3,084	2,642
うち有利子負債	2,712	2,193
純資産合計	247	558

株主構成の推移



*1 2020年8月20日時点の発行済株式総数13,784,000株に占める、公募株式数415,000株と売出株式数215,800株（オーバーアロートメントを含む）合計に加え、上場前からの株主や経営陣等の売却株式数から算出。

*2 会社独自調査の結果認識している上場前からの株主（VC投資家、エンジェル投資家）の保有株式。

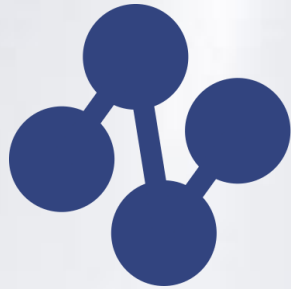
*3 当社経営陣の保有株式数

免責事項

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

AIで心躍る未来を



NEURAL

ニューラルグループ株式会社

Neural Groupという社名には、AI技術をはじめとする最先端テクノロジーの開発を通じ、幅広い領域で、枠にとらわれない心躍るサービスの提供を目指したいという思いが込められています。リアル空間、バーチャル空間のいずれにおいても、エッジAI技術を活用し、AIカメラや広告配信、ファッション・アパレルなど、様々な領域で、心躍る未来の社会をグローバルに実現していきたいと思えます。